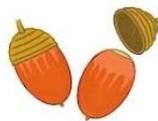


# 学校だより



学校だより 11月号  
令和3年11月1日  
発行者 外日角小学校  
TEL 283-0040

## 「伝える」を大切に

校長 稲垣 一郎

10年近く前のある研究会に参加したとき、講師の方がカラオケを引き合いに出してお話をされたことが心に残っています。授業を見られた講師の先生が、『発表の授業がカラオケボックスになっていませんか。』ということでした。カラオケでは、誰かが歌っている間、自分が次に歌う曲を必死に選んでいるという場面が見られます。これを授業に当てはめて考え、発表者が一生懸命話していても、聞いている子（発表の順番を待っている子）が、自分の発表の準備をしているようでは、「伝える活動の意義」があるのかというご示唆でした。



本校でも、国語科や総合的な学習の時間、社会科等、どの学年でも様々な発表会が行われています。ある学年の授業では、音読発表会を目指して読解の学習を進めていました。学習して理解した登場人物の気持ちや場面の様子が発表会の時に相手に伝わるように、声の強弱や言葉の明瞭さに気を付けて（グループによっては、身振り手振りも）音読の練習を進めます。発表会をするという目的や聞いてくれる仲間がいるということが、こんなことを伝えたい・こんな方法で伝えたいなど、自分の思いをもち、主体的に学習に向かっていく

原動力になっていくものなのです。

私たちは、発表会的な活動だけでなく、日々の学習の中で、隣席の子や、3、4人の小グループの子たちと自分の考えを伝え合ったり、話し合いをしたりする場面を意図的に（今は、ソーシャルディスタンスに気をつけて…）作ります。話し手の伝える技術だけでなく、話し手が話したいと思える聞き手を育てることも必要となります。聞き手が反応を示せば、話し手はもっと話したいと思えることでしょう。

このように伝える活動は、昨今の教育活動で重要視されています。伝える内容をよく理解しなければ人に伝えられません。また、だれに伝えるかによって、伝え方を変えなければなりません。聞き手がわかっていないようならば、別の方法を使って伝える努力をすることでしょう。知識を身に付ける力（インプット）だけでなく、身に付けたものを活用して表現する力（アウトプット）が次代を担う子どもたちに必要な力とされています。子どもたちの表現力向上のため、私たちも様々な活動の場を通して支援していきたいと思っています。

## 令和3年度 全国・石川県・かほく市 学力調査結果

※表の見方 : 本校の6・5・4年生は、国・県・市の平均と比べ、

◎ : 5%以上高い ○ : 5~2%高い △ : 5~2%低い ▲ : 5%以上低い

6年生 国の調査 : 国語・算数 県の調査 : 理科・社会

比較対象	国語	算数	理科	社会
国平均	◎	○		
県平均	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ

5年生 市の調査 : 国語・算数

比較対象	国語	算数	理科	社会
国平均	◎	◎		
市平均	○	○		

4年生 県の調査 : 国語・算数

比較対象	国語	算数	理科	社会
県平均	△	ほぼ同じ		

### 〔成果と課題〕

- ・ほとんどの教科で国の平均を上回っており、県平均（5年生は市平均）とほぼ同じである。
- ・国語科においては漢字の読み書き、語句の意味や文法等の理解が高い。文章問題での要約する力、段落相互の関係について、さらに理解を深めるようにする。
- ・算数科において、基礎的な計算や小数のしくみ、グラフの読み取り等は定着してきている。問題の解き方について、自分の言葉で簡潔に説明できるようにする。
- ・社会科・理科においては、基本的な知識は定着してきている。2つの資料を比べて分かること、目に見えない物をイメージできるようにイラストや図に表すことで、理解が深まるようにする。

## 3学期の行事について

3学期の主な行事についてお知らせします。1月21日(金)「授業参観」、2月22日(火)「6年生を送る会」、3月17日(木)「卒業式」を予定しております。しかし、乾燥する季節ということもあり、コロナやインフルエンザの影響が続く可能性がありますので、3密を避ける形での参観や児童のみの参加も含め、児童の安全を確保しながらの開催について、ご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、詳細な日程や内容については、後ほどお知らせいたします。

※上記の3行事を含め、今後の予定は変更になることがあります。